

## 基礎学力を身につけるための指導の工夫

～意欲的に英語学習に取り組む児童・生徒の育成～

### I 研究主題の設定理由

東山梨地区外国語部会では、毎年、研究会で学んだことを授業で活かせるような実践的な研究を目指し、具体的実践報告およびその検討を主とした研究を行ってきた。

そのような中で、今年度は研究主題を「基礎学力を身につけるための指導の工夫～意欲的に英語学習に取り組む児童・生徒の育成～」とし、児童・生徒に基礎学力を身につけさせるために必要となる「英語学習に対する意欲」について主に研究していくことにした。

この決定の背景には、昨年度から小学校で新学習指導要領に沿った外国語活動が展開されていたり、今年度からは中学校でも新学習指導要領が全面実施されたりしているが、そのような中で、外国語活動にあまり意欲的に取り組まない児童や、語彙力が低かったり、文法知識があまりなかったりする生徒たちがいるという課題があることを受け、どのようにしたら、児童・生徒に基礎学力をつけさせることができるかということから話し合いを始めたということがあった。話し合いを重ねる中で、私たちは、小学校における外国語活動を通して育まれるコミュニケーション能力の素地や中学校で身につけさせるべき語彙力や文法知識、教科書を読めることなどを「基礎学力」と定義付けた。そして、上記のような基礎学力を身につけさせていくためには、まず、学習の原動力や推進力であり、学習を始めから最後までやり遂げようとする意志である「学習意欲」を高めることが大切であると考えた。

### II 研究内容、研究の進め方、検証方法、研究授業

#### 1 研究内容

英語学習における基礎学力を児童・生徒に身につけさせていくうえで必要となる指導の工夫、その中でも、特に、どのようにしたら児童・生徒の学習意欲を高めることができるかを研究した。

#### 2 研究の進め方

(1) 児童・生徒の発達段階を考慮し、小学校部、中1年部、中2年部、中3年部に分か

れての研究とする。

- (2) 研究会で学んだことを日々の授業で活かせるように、教科書の題材をもとにした研究を進める。
- (3) 相互の情報交換として、日々の授業の指導方法においてどのような工夫をしているかや日々の授業での悩み事、その改善方法などを共有する。
- (4) 研究主題を意識した研究授業などを行い、その成果と課題を検証し、これからの実践へとつなげる。

### 3 検証方法

研究主題を意識した研究授業などを行い、研究授業での生徒たちの様子から学習意欲が高まったかどうかを見とる。

### 4 研究授業

8月26日(水) 授業者 平井成二教諭(塩山中学校)

2月6日(水) 授業者 篠原大志教諭(山梨南中学校)

## III 成果と課題

### 1 成果

学習意欲の向上という視点からDVDを活用した指導方法の研究や教材研究、指導案検討などを行うことができた。そして、そこから研究授業へとつなげ、2回行われた研究授業のどちらにおいても意欲的に英語学習に取り組む生徒たちの姿を引き出すことができた。

また、小学校部、中1年部、中2年部、中3年部に分かれて、研究を進めた部分においては他校の先生たちと日々の授業の中で教科書題材をどのように扱い、どのような授業展開をしているかや教科指導上の苦勞していることなどを話し合うことができた。話し合いを通して、今後の指導方法についても考えることができ、有意義だった。

### 2 課題

一人ひとりの先生が日々授業をする際、指導意図をもって授業を組み立てているので、しっかりとした研究仮説を立て、その仮説にもとづいた研究を行い、児童・生徒がどのように変わっていたかをもっとしっかり検証するべきだった。

また、児童・生徒の学習意欲を高めさせながら、いかに基礎学力を身につけさせるかという視点から、共通教材の開発や活動の研究、さらにそこから日々の実践へとつなげることができると、より研究が深まったと思う。

( 部長 大村 隆 )